事業者向け　2022 年度 放課後等デイサービス 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室は建築審査内の最大スペース確保。厚労省による基準クリア
	2	職員の配置数は適切であるか	○			常勤職員 4 名/非常勤職員 6 名の合計 10 名体制の内全員が有資格者にて配置。厚労省による基本人員以上を満たしています。(ドライバー除く)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			厚労省による基準を満たしております
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			合同朝礼月 1 回、職員会議を週に 1 回・毎朝朝会と終礼、常時ｹｰｽ会議を開催・
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査票と返信用封筒を各保護者様宛にお渡し、匿名にてご回答をいただいています。今後の支援や業務改善につなげるよう邁進いたします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	検討継続
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			可能な研修は全て参加。月初に前月に受講した結果を保護者様宛に LINE にて開示・2017 年より訓練休暇制度を導入
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			初回面談と保護者様からのアセスメントを元に担当者会議を開き、児童に合った個別支援計画を作成します。実際の関りを通して半年に 1 回以上計画の見直しをします。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化された専門のソフトを活用
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個人にて持ち回り立案をし、それをチームで協議
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇の全ての日が、課題をきめ細やかに設定して支援が出来ているとはいえない。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々のご様子、保護者様からの情報をふまえてケース会議を開催し計画を作成

	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝会、終礼と 2 回ミーティングを開催し支援中もインカムを活用し連携している。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	○			終礼時にその日のフィードバックを実施
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の支援記録を作成し、ケース会議にフィードバック
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低、半年に1回開催
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			新しい職員が入職する度にガイドラインの読み合せを実施。
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当職員が参画しております
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		毎週金曜日に学習予定表にて確認
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		情報共有に努めます
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		情報共有に努めます
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			2023 年度に年行政による、放課後等デイサービス指導を受講予定
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		週に1度地域の公園で交流があります。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			１００%参加
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		共通理解のある保護者様、少ない保護者様とバラつきがある
保護者への説明責任等	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時及び変更があれば随時
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様から相談があった場合は随時対応

	29	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	毎年 11 月に参観月間として、参観日を設けている。また 6 月は保護者様も一緒に参加できる BBQ を企画

非常時等の対応	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			必要に応じて迅速かつ適切に真摯に対応を心掛けています
	31	定期的にホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			業務用 LINE を活用して、毎日児童の様子を写真にて配信。また連絡用 LINE・連絡帳を活用
	32	個人情報に十分注意しているか	○			常時、鍵付き収納庫に保管
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		ひとりひとりに個別支援対応
	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			玄関入口に常時閲覧可能にしている
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			自主訓練及び消防署の指導のもとの訓練を含めて年2回以上実施
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に最低 1 回社外研修受講と社内研修を 1 回以上開催。2 か月に 1 回、職員虐待チェックシートによる意識 UP
	37	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からのケアシートにて対応
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			基本発生の都度会議招集・職員会議開催時にヒヤリハット共有会議